

平成 30 年 9 月 17 日

### 1. 原稿の書式

- 1) 原則として、標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を用いた MS-Word で作成する.
- 2) 原稿は A4 版横書きで, 1 行の文字数を 35 字, 1 ページの行数を 28 行 (約 1,000 字) とし, 適切な行間をあける.
- 3) 原稿ファイルは本文 (文献を含む), 図 (写真を含む), 表に分ける. 必ず投稿前にファイル内の文字化け, 画像の鮮明度などを確認する.
- 4) 投稿するファイルには, MS-Word の校閲機能による変更履歴・コメントを使用しない.

### 2. 原稿の構成と規定枚数

- 1) 原稿の構成は, 論文題目 (日本語・英語), 和文抄録 (400 字程度), 英文抄録 (250words 程度), キーワード (日本語・英語でそれぞれ 5 語以内), 本文, 文献, 図表の順とする. また, 本文右欄外には, 図, 表, 写真の挿入希望位置を示す.
- 2) 投稿原稿の 1 編は本文, 文献, 図表を含めて下記の枚数以内とし, 投稿原稿の下部中央にページ番号を記載する (ただし, 題目, 抄録, 付録にはページ番号を記載しない).
  - 論壇 8 枚以内
  - 総説 12 枚以内
  - 原著 16 枚以内
  - 短報 4 枚以内
  - 資料 12 枚以内
  - その他 (その都度定める)

### 3. 原稿の文体と見出し

- 1) 原稿は日本語とし, 句読点は「,」「.」で統一する.
- 2) 外国語はカタカナで, 外国人名や日本語訳が定着していない学術用語などは原則として活字体の原綴りで書く.
- 3) 接続詞・副詞は, 原則として, 仮名で書く.  
例) かつ, したがって, ただし, ついては, また, ゆえに, なお, あるいは, および
- 4) 見出しは, 章 (I.・II.・III.…), 節 (1.・2.・3.…), 項 【(1)・(2)・(3) …】, 項の下は 【(1)・(2)・(3) …】 で記載し, ゴシック体とする.

#### 4. 倫理的配慮

- 1) 人および動物が対象である研究は、倫理的配慮の内容について本文中に記載する。なお、明記する際には施設や個人が特定されないよう留意する。
- 2) 研究倫理審査委員会での承認、承認番号を電子投稿システムに入力する。

#### 5. 図表

- 1) 図、表および写真は、図1、表1、写真1など通し番号をつけ、1ページに1点として作成する。
- 2) 図については、DOC(X)、XLS(X)、PPT(X)、JPG、TIFF、GIF、AI、EPSおよびPSDフォーマットなどのオリジナルファイルをアップロードする。
- 3) 表については、標準的なフォント（MS明朝、MSゴシック、Times New Roman、Centuryなど）を用いたMS-Excelでの作成を推奨する。
- 4) 表は原則として横罫線のみで表示し、縦罫線は表示しない。縦罫線のかわりに十分な空白を置く。
- 5) 数字は正、負の数に関わらず、同列内の小数点の位置、小数点以下の桁数（有効数字に応じて）揃える。
- 6) 表中の数字が理論的に必ず1以下になる場合（相関係数など）は、0を付けずに「.52」のように小数点以下のみで記載する。

#### 6. 文献

- 1) 文献については、本文中に著者名、発行年次を括弧表示する。なお、[翻訳書]を引用する場合で、それを本文中に表示する場合は、原著者名（原書の発行年次／訳書の発行年次）と表示する。
- 2) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。但し、共著者は3名まで表記する。
- 3) 外国人著者の名前は、「姓（フルスペル）、名（イニシャル）。」で記載する。  
例) Benner, P. Orem, D. E.
- 4) 文献の記載方法は下記に従う。

##### [雑誌掲載論文]

- ・著者名（発行年次）：論文の表題、掲載雑誌名、号もしくは巻（号）、最初のページ数–最後のページ数

※日本語雑誌名は医中誌略誌名（医学中央雑誌刊行会）に、国際雑誌名はIndex Medicus（アメリカ国立医学図書館）のタイトル略記（NLM Title Abbreviation）の所載に従う。

ただし、両データベースに収録されていない場合は、雑誌のフルタイトルを表記する。

##### [単行本]

- ・著者名（発行年次）：書名（版数）、出版社名、発行地
- ・著者名（発行年次）：論文の表題、編者名、書名（版数）、ページ数、出版社名、発行

地

[翻訳書]

・原著者名（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）：翻訳書の書名（版数），出版社名，発行地

[オンライン版で，DOIのない場合]

・著者名（年号）：論文タイトル，収載誌名，巻（号），開始ページー終了ページ，URL

[オンライン版で，DOIのある場合]

・著者名（年号）：論文タイトル，収載誌名，巻（号），開始ページー終了ページ，doi：

DOI番号

[Webページなど，逐次的な更新が前提となっているコンテンツを引用する場合]

※出版データのあとにカッコで括って検索日を記載する。

・Webページの場合

サイト名：タイトル，Retrieved from: <http://>・・・（検索日：XXXX年XX月XX日）

## 7. 謝辞（あるいは助成等）

当該研究の遂行に関して受けた研究助成がある場合，また，著者以外で当該研究の遂行や論文作成に貢献した者（以下，貢献者）がいる場合は，電子投稿システムの「謝辞」の欄に各貢献者の貢献内容を記して謝意を述べる。謝辞に記載する者の例として，純粋な技術的支援を提供したもの，執筆の補助，または部門の責任者等が含まれる。

## 8. 著者資格

- 1) 論文における各著者の原稿への貢献を，電子投稿システムの「著者資格」の欄に記載する。
- 2) 投稿論文の著者とは，投稿された論文に重要な知的貢献をした者である。重要な知的貢献をした者とは，研究の着想，デザイン，またはデータの入手，分析，解釈に重要な貢献をした者，あるいは，原稿の作成に関与し，論文の内容について責任を負うことができ，研究への十分な参加をしている者である。資金の獲得，データ収集，または研究グループへの部分的な助言のみを行った者は著者にあたらない。
- 3) 各著者の貢献内容は，この項で次のように記載する。（各著者の貢献について言及する際，イニシャルを用いること）  
例) ABおよびCDは研究の着想およびデザインに貢献；EFは統計解析の実施および草稿の作成；GHは原稿への示唆および研究プロセス全体への助言。すべての著者は最終原稿を読み，承認した。
- 4) 上記の著者資格に当てはまらない貢献者は，謝辞に記載する。

## 9. 利益相反

- 1) 著者全員について、投稿時から遡って過去1年以内での発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI状態を「本会の学会誌等で発表を行う著者の利益相反（COI）申告書」に記載して電子投稿システムにアップロードする。
- 2) 申告書は、以下のように記載する。当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を記載する。利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

\*利益相反：外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれているのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針」（平成20年3月31日科発0331001号）

## 10. 付記

論文中に、学術集会にて発表している旨や修士・博士論文に加筆・修正を加えたことを記載する場合は、「付記」として記載する。

<記載例>

例) 本論文の内容の一部は、第〇回〇〇〇〇〇学会学術集会において発表した。

例) 本研究は、〇〇大学大学院〇〇研究科に提出した修士（博士）論文に加筆・修正を加えたものである。

## 11. 原稿作成時の注意事項

- 1) 著者名や所属機関名、受審した倫理審査委員会名・承認番号、謝辞、著者資格は投稿時にアップロードする本文原稿中には記載せず、電子投稿システム画面上に入力する。
- 2) 自著を引用する場合は、「著者」「筆者」との文言を用いず、自身の固有名詞を明記し、文献リストにも明記する。
- 3) 抄録には原則として、目的・方法・結果・結論の項目をつけ、それぞれにつき簡潔に述べる。
- 4) 英文抄録は和文抄録の内容と一致しており、**native check**を受ける必要がある。
- 5) 改訂稿の場合、査読者からの指摘に基づいて修正した箇所にアンダーラインをひく。